

特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130

ホームページ <http://nalc.jp>
 奇数月 10日発行
 kato@nalc.jp



地域	活動拠点数	地域	活動拠点数	海外	活動拠点数
北海道	11	中部	6	ナルクUSA	1
東北	5	近畿	29	ナルクスイス	1
関東	21	中国	4	ナルクUK	1
信州	3	四国	3	ナルクオランダ	1
北陸	2	九州	4	合計	4
合計		88			

2023年度 事業計画(案)

コロナ禍での3年目の活動を如何に展開するか、

拠点の独自性の発揮を拠点の皆様の総意で検討頂き、実りのある活動の実践を!!

2024年30周年を迎えるにあたり「発展プロジェクト」もスタートしており、その成果にも期待したい。

是非、ナルクの理念をベースに「楽しいナルク」「安心のナルク」「感動のナルク」を常に念頭において活動頂きたい。

2023年度の重点5項目 ①基本の順守 ②体制強化 ③経営基盤の確立 ④地域社会との連携強化 ⑤地区連絡協議会の充実

具体的な活動項目

1. ナルクの原点である理念の再認識と基本活動の実践

ナルク設立の原点である「自立・奉仕・助け合いで生きがい」の理念を今一度再認識すべきである。

全国組織であるナルクの活動は「マニュアル」を基本に展開しているが、昨今基本を外れた活動も散見され、今一度「マニュアル」を理解した上で、活動を実践することが重要である。

2-1. ナルクの持続的な発展を目指し、後継者の発掘と育成

本部も含め、代表者、事務局長の後継者が見つからず、解散に追い込まれたり、解散寸前の危機的状況の拠点が増えてきており、次代を担う人材の育成が喫緊の課題である。若手の人材を発掘し、継続的に本部主催の「リーダー養成講座」での人材育成を図りたい。

代表・役員の後継のため、毎年「リーダー養成講座」に受講生を派遣されている拠点もみられる。

組織トップの一番の仕事は次のリー

ダーを育てること。それを再認識することは、必須である。

2-2. 組織の再点検により活動会員の増強

拠点役員が会員に面談・接触し意思疎通を図り、イベントや活動等への参加を通じて「楽しいナルク」を実践し活動の強化と会員増に結びつけてほしい。

また、利用会員の家族を会員にする呼びかけ等、活動会員の発掘、会員の増強を図る。ナルクビジョンで提案された「全世代対応の会員組織」への展開・将来につながる組織運営の確立のため取り組むことが大事である。

3. 事業活動の展開による拠点の運営基盤の確立

ボランティア団体は、組織を維持していくため、収益事業を実施していく必要がある。

今後、従来進めてきた市町村が行う「総合事業」で、住民の日常生活支援に対し積極的に対応頂きたい。これらの活動は拠点、本部の運営を維持管理していくために欠かせない財源にもなっている。

この総合事業に参加していくには、

地元の状況、会員の意向を充分考慮して、取り組む方法を決定し、地域の市町村の要請に対応して頂きたい。

総合事業を地域での社会貢献活動と捉え、介護保険財政への協力と地域社会との連携も配慮し、前向きに取り組むことが地域での高齢者支援のネットワークを作る面からも大切である。

4-1. 地域と連携し全拠点を挙げて「ナルクデー」を实行しよう

ナルク設立の理念である「社会貢献活動」を積極的に推進することが重要であり、地域の環境美化活動、福祉施設への支援活動等、地域社会への貢献のための行動を展開し、その一環として一昨年から実施した「ナルクデー」を4月20日を中心に実施したい。

具体的な行動としては、地域の環境美化をメインに拠点単位、エリア単位、または地域の方々も巻き込んでの活動をお願いする。

4-2. 行政とも連携し「安心のナルク」の実現を

独り暮らしの高齢者への支援は「見回りしたい」「お元気コール」として、ほとんどの拠点で実施している。また、独

居高齢会員のため「後見人活動」を広げる活動を進めてきた。最近行政主催の研修会が開催されている。これに参加しナルクとして何が出来るかを見定めて、独居高齢者の相談窓口として、対応することが大切である。このように拠点と会員との関係をより密にし「安心のナルク」の実現を目指してほしい。

5. 地区連絡協議会の充実強化を

昨年度、エリア17推進活動を発展的に進めるため「地区連絡協議会」がスタートした。拠点の持つ課題解決、地域共通の課題解決、各種研修会、拠点交流イベントの開催等それぞれの地域で「地区連絡協議会」ベースで展開を図ってほしい。加えてこの協議会を通じて、拠点と本部間の意思疎通もよくしたい。



終わりに

「自立・奉仕・助け合いで生きがい」の理念を継承し、ナルク30周年を迎えよう!!

団体賛助会員

あいおい損保ニッセイ同和損害保険・亀岡病院・関西電力労働組合・近畿労働金庫・公益社・全電通近畿社会福祉事業団・東北電力労働組合・東北発電工業労働組合・東京電力労働組合・パナソニック・パナソニックグループ労働組合連合会・ユアテックユニオン・労働者福祉中央協議会・亀岡松花苑(みずの木)・ライフ薬局(株)・明倫社・ダイハツ労働組合・ダイキン工業労働組合・デイサービスセンター(さくら) (敬称略)

昨年12月宮城拠点の前代表で、理事を長くされた林茂様が93歳で鬼籍に入られた。普段はもの静かな方であったが、理事会では的確な発言をされ、厳しい方だと今もなお印象に残っている。▼また、東日本大震災後の取り組みは、全国会員の記憶に新しいことであろう▼仮設住宅での「パソル喫茶」の運営に陣頭指揮をとられ、林さんは「私たちのような高齢者だからこそキャリアを生かしたコミュニケーション、支援が出来るのではないだろうか。ナルクのメンバーにとっても、生きがいというキザげだけど、社会に活動を認められることが一番の張り合い」と述べられた▼その素晴らしい功績で平成天皇皇后陛下に支援活動を上奏され感銘を与えられた▼仙台で実施した「ナルク20周年記念総会」では、宮城拠点に全面的に企画・運営の支援を頂き、成功裏に終了した。植樹・慰霊碑巡回、総会での演出等々、全国から参加した1200名の会員が感謝と感動を得て帰路についたものである▼今頃、天上で高畑さんと仙台の銘酒を酌み交わしておられるでしょう。(合掌)

(神野 毅)



昨年12月宮城拠点の前代表で、理事を長くされた林茂様が93歳で鬼籍に入られた。普段はもの静かな方であったが、理事会では的確な発言をされ、厳しい方だと今もなお印象に残っている。▼また、東日本大震災後の取り組みは、全国会員の記憶に新しいことであろう▼仮設住宅での「パソル喫茶」の運営に陣頭指揮をとられ、林さんは「私たちのような高齢者だからこそキャリアを生かしたコミュニケーション、支援が出来るのではないだろうか。ナルクのメンバーにとっても、生きがいというキザげだけど、社会に活動を認められることが一番の張り合い」と述べられた▼その素晴らしい功績で平成天皇皇后陛下に支援活動を上奏され感銘を与えられた▼仙台で実施した「ナルク20周年記念総会」では、宮城拠点に全面的に企画・運営の支援を頂き、成功裏に終了した。植樹・慰霊碑巡回、総会での演出等々、全国から参加した1200名の会員が感謝と感動を得て帰路についたものである▼今頃、天上で高畑さんと仙台の銘酒を酌み交わしておられるでしょう。(合掌)

(神野 毅)

第17回 拠点リーダー 養成講座を受講して

ナルクとして最重要研修である「拠点リーダー養成講座」は、今年度で第17回を迎え、11月10日、11日の2日間大阪(中之島センタービルNCB会館)で実施された。

コロナ禍の中、今回の受講生は13名、70歳前後の比較的若い人材が集まり、また複数参加の拠点もあり、活発な議論が展開され、昨年に引き続いてレベルの高い研修となった。今後の拠点での活躍が期待される。

受講生6名の感想文を掲載する。(掲載順不同)



会場のある大阪中之島の風景



北海道 札幌市 札幌拠点
渡辺 信義

札幌から参加の私は、前泊と後泊を入れて3泊4日の大阪でした。滞在中の大阪は天候に恵まれて暖かく、寒い札幌との気温の差は10℃近くあったようです。

初めてお会いした本部スタッフの方々には、優しさと強い誇りのようなものを感じました。優しさは、同じ理念に基づいて活動している仲間に対する思いやりでしょう。また、その誇りは、発足して30年近くになるナルクを牽引している責任感と自信の表れではないのだろうか、と私は思いました。そんな本部の皆様を迎えられての2日間でしたが、ナルクに対する私の思いは大きく変化しました。参加する前のナルクへの思いの大きさがピンポン玉としたり、大阪

を離れるときにはバスケットボールほどの大きさになっていました。この講座の参加対象は、各拠点の代表、副代表、事務局長およびこれに準ずる役員で、拠点において3年程度の活動経験のある人ということでした。ナルクに加入してまだ7カ月の私は、「とにかく行って勉強しておいで」と、拠点の代表に背中を押されて参加しました。私以外のほとんどの参加者は、それぞれの拠点の中心となっていて何年も活躍されているベテランの方々ばかりでした。

「神野会長をはじめ本部の方々に接することができる」「全国の仲間と交流ができる」「ナルクの精神や活動について学ぶことができる」これらを体験できるこの講座は、私のようにナルクでの日の浅い者ほど、多く参加するべきだと思えました。拠点運営の後継者を育てる最高の機会になるのではないのでしょうか。

私の目は、以前から高齢者よりも子供や若者に向けていました。そのような職業についていましたし、3年前までの10年間は知的障害のある青年が通所している施設でボランティアとして非常勤講師を務めてきました。ですから高齢者の活動についてはあまり関心が高かったのですが、今回の講義を受けて、ナルクは高齢者ばかりが参加する組織ではないことを確認できたのも大きな気づきでした。

人生で最高の喜びは「他人から感謝されること」だといわれていますが、ナルクは奉仕する人も、奉仕される人も、会を運営する人もお互いに感謝し合いながら自己実現できる場であると思います。微力ながらも仲間と力を合わせて、そのような場を目指していきたいと思えます。

最後になりましたが、お世話になった本部の皆様、全国から参加した12名の仲間の皆様、そして背中を強く押して参加を勧め下さった札幌拠点の八百坂代表に感謝申し上げます。ありがとうございました。

また総合事業「ナルクすこやか」への運営も企画させて頂いている。活動のほとんどが事業活動



兵庫県 芦屋市 芦屋拠点
河崎 昭男

この度の研修にあたり本部の皆様には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。また本部の皆様との交流を通じて多くを学びました。重ねて感謝申し上げます。

以下、本講座を受講して感じたことを述べます。

▼ナルクでの活動に関する当面の最重要課題は、いかに新入会員を獲得するかということであると考えているが、その点で今回の受講を通じていくつか有益なヒントを得ることができた。

例えば箕面拠点は、入会案内のチラシを作成するにあたってターゲットとする年代に応じた内容になるよう工夫しておられるとのこと、また地域での子供とかかわる色々なイベントに参加し、子供へのアプローチを通じて親世代や祖父母世代にナルクを認知してもらおうといったアイデア、これはこれまで私の発想にはなかったことで大変参考になった。

それと共に今回の受講を通じて改めて感じたことは、新入会員の獲得は大変重要な課題であるが、そのことばかりに目を向けるだけでは不十分で、現在の会員同士の密接な関係作りにも一層注力しなければならぬということ。

具体的には相互扶助活動、ブロッコ大会、さまざまな同好会および芦屋拠点で取り組んでいる会員同士の「安心つながり活動」などを一層活性化していくことが重要であると改めて感じた。そのことは会員がナルクの活動を楽しむという点に繋がっており、ひいては退会者を減らし、さらには入会者を増やすことにも繋がると考えられる。



大阪府 枚方市 枚方拠点
佐野 友保

ナルク入会9年目で今回の養成講座に参加した。入会当初から枚方市とナルクで事業委託契約している「情報プラザ」で市民向けのパソコン講座の講師及び施設運営に携わってきた。

また総合事業「ナルクすこやか」への運営も企画させて頂いている。活動のほとんどが事業活動

知らなかった「公助」と「共助」の違いについて改めて教えて頂いたことで奥深さを認識し、更に調べると「自助・互助・共助・公助」が地域包括ケアシステムの構成要素であることが判り、このようなことを考えているだけで目が冴えてきて勉強不足を実感した。

また改めて枚方拠点は、多様な内容に力強く取り組んで来られたことと先輩方の層の厚さなどが判

感じ取ることができた。改めて他拠点の方と交流しないと判らなかつたことと実感した。

いくつか挙げると、拠点交流の中で入会して1年も経たずに運営委員に推薦された方が複数拠点で協力し地域の小学生も巻き込んで視点を変えた活動をしている拠点のあること、活動年齢を下げる工夫をどのようにされているかなど、数え上げるとキリがないが多



卒寿現役

問われて語るもおこがましいが、生まれ長良川、その清流で産湯をつかい、五男一女の総領として生まれた岐阜っ子で、家は街のちっちゃな飲食店。ガキの頃から店の手伝い、弟妹の面倒身がよく、町内からも孝行息子と評判で、心豊かに育っていたが、悪夢の太平洋戦争。突然襲われた空襲で、一家まる焼けまるはだか。

終戦後、6人もの子供を抱えて両親は、必死に働き、生計支えた甲斐あって、子も無事に成長し、高校大学卒業し、晴れて世に出て社会人。以前を言えば銀行員、世の中戦後の成長期、神武、岩戸の好景気、昼は預金集めに奔走し、夜は仲間と麻雀、酒場のはしご酒。真面目に努めた甲斐あって、ここや、かしの町の支店長。勤めあげてきたものの、世の中バブルの好景気、ヘッドハンティングとおだてられ、とうとう銀行飛び出して民間企業へと大転身。

宅地建物取引主任者の資格もとって、漕ぎ出した第2の人生、しばらくは順風満帆我が世の春と思いに、やがて日本経済、バブルがはじけ、どこもかしこも青息吐息。こころあたりが潮時と、永年住んだ富山を去って、生まれ故郷の美濃の地へ20年ぶりに舞い戻り、さてこれからはゴルフ、温泉、景勝巡りと夢を描いたその矢先、思いがけない友から便り。開けてみれば東京で、4年間、同じ釜の飯を喰った友からナルクの誘い。これも何かのご縁と誘いに乗ったのが運の分かれ目。

周囲を見渡せば、子らは独立家を捨て、連れ合いにも先立たれ、一人ぼっちのわび



北海道 函館市 函館拠点 平沢 修

今回、拠点リーダー養成講座に参加させて頂き、本部の会長始め理事の皆様、グループ討議等を通して、ナルクをより深く知ることができました。

減少、会員の高齢化や、活動の鈍化の問題があり「地区連絡協議会」「発展プロジェクト」を立ち上げて解決のために取り組んでいることは、非常に重要なことであると感じました。理事の皆様からの講義も、今まで不勉強だった定款の内容や、収益事業、決算状況なども知ることができ大変有意義でした。講座全体を通して感じたことは、理事を始め、参加会員の皆様の熱意と現状を改善していこうという気持ちでした。私もナルクの一員として微力ながら尽力してまいります。今回はこの講座に参加させて頂き、ありがとうございました。



京都府 亀岡市 亀岡拠点 森谷 仁

まず、神野会長からナルクの歴史と理念、現状の問題点と解決についてのお話がありました。30年近く活動を続けているだけあり、しっかりと組織であると改めて

クの理念にのっとった収益活動でなければならぬことを学びました。地域活動では田中専務理事が声をあげてナルクの充実、将来への不安を語られて強い感動を覚えて自分も頑張らねばと思いました。収益事業では本部を除いて枚方拠点が多かったですが、亀岡も決して少なくはなく、誇れる収益の柱を持っていることが分かりました。奉仕・助け合い活動が主体のナルクでも運転資金は大事で拠点の存続に関わると思いますが、こういった収益活動を継続するには市の福祉課等との長く強い繋がりが必要と感じました。親睦交流会では他の地域の方の活動範囲、活動状況を聞くことができて各拠点の強い面や、悩みも分かたつたような気がしました。コロナで大人数での親睦会は開けていなかったため新鮮な気がして各拠点の方でも打ち解けたと思います。グループ討議での私達のテーマ

も収益活動は限られており、ナル

法でまとめていきました。その結果、若者との交流のためのイベントや場づくり、デジタル世代へのSNS等を利用した広報などを結論として発表しました。アイデアを出していく過程で、他拠点の活動の話も聞くことができ、大変勉強になりました。講座全体を通して感じたことは、理事を始め、参加会員の皆様の熱意と現状を改善していこうという気持ちでした。私もナルクの一員として微力ながら尽力してまいります。今回はこの講座に参加させて頂き、ありがとうございました。



大阪府 茨木市 茨木・摂津拠点 伊田 英雄

時間の制約もあり殆んどしてこなった。唯一「拠点紹介ビデオ」の作成とDVD頒布やHPで公開する中で拠点の活動全体を知ることができたことが、拠点運営に関心を持つきっかけとなり、また運営委員となる中で更に深まった。今回の養成講座で会長より「ナルクの基本的な考え方」を繰り返

について体系的に整理することができたが、一つ一つの講義録・資料を読み返し更に理解を深めていく。グループ討議の中で全国11拠点13名の役員の方々と交流を持つことができ、①ナルクへの熱量のすごさ、②拠点活動の多彩さと工夫されている内容、③責任者が若い世代へ期待していることなどを

に低下し、拠点の経営も悪化している。高齢化や後継者不足、退会者増等々。これらの問題への対応は、会員同士の声かけやクラブ活動、新人研修、また、地域の他団体との連携などで拠点を活発にすることが必要であるとの話であった。その後は各担当理事から定款、時間預託活動、地域活動、事業活動、会計についての講義があった。その中で事業活動ではコロナ禍や高齢化の影響で、全国での時間預託活動、過去最大年間19万9000点↓9000点と半分以下に、奉仕活動では、最大年間25万点↓8万点と大幅に低下して厳しい状況である。但し、枚方拠点は市からの委託事業や、総合事業で収益をあげている。大いに参考にしたいと欲しいとの事である。講義の後は、2グループに分かれて、別々のテーマで熱心にグループ討議を行った。私達の班は7人で「会員（活動会員特に若い人）増強」をテーマにし、まず各人が拠点で行っていることや思いついたことを紙に書き出して台紙に貼り、その案をいくつかのグループに仕分けた後、話し合つて以下の4つの提案に集約した。①参加しやすい場を作る…多世代カフェ、同好会、若い人向けの趣味の会などをつくる。②自治体等の広報版を利用しイベントの予告をする…地域で説明会を開く、市広報やマスコミなどを利用し、市民に分かりやすくPRする。③子ども達へのアプローチから親世代を狙う…子ども食堂、宿題カフェ、学童でのイベントなどで親世代にもPRする。④デジタル世代へのアプローチを図る…ネットやSNSインスタフェイスブックを利用し若い人にもPRする。今後、グループで討議した提案を各拠点に持ち帰り、拠点でのナルク活動に生かしていく事が重要であると思う。

ナルクに入会して7年、今回リーダー養成講座に参加した。2日間13人の受講生と共に色々話し合い、直接拠点の情報交換をすることにより、今後の活動の参考になり、非常に実り多い講座となった。

まず会長の基調講演「ナルク総論」では、創業の理念とその実現のためのツールとしての3つの活動（自立・奉仕・助け合い）がありこれらを実践することにより健康と生きがいを得るとの話である。これまで様々な機会でも教わったが、再認識した。また、現状の問題点として「ナルクの原点・基本を忘れていないか。初心に戻る事が大事である」と言われ、私にも当てはまる事とハツとした。コロナ禍の影響で、活動は全般

また、現状の問題点として「ナルクの原点・基本を忘れていないか。初心に戻る事が大事である」と言われ、私にも当てはまる事とハツとした。コロナ禍の影響で、活動は全般



住まい、病に悩むお年寄り、そんな人ばかり、これを見捨てて置かりようか。すぐにナルク岐阜を立ち上げて、西に患った老人がいれば病院に連れていき、東に歩けぬ老人がいれば車いすを押してやり、医者にご家族ですかと問われれば、友人ですと答え、高齢者や、障がい者、子育て中のママの力になってやる、ボランティア三昧。気が付けばナルク岐阜も早や20年、年も取り米寿を過ぎて来年は卒寿、それでもあと10年は頑張れるかなと臆言を言つてる、ナルク岐阜のヒロちゃんとは、あつしのことです。 (岐阜県/岐阜拠点 山口弘) 次号は北陸地区を掲載します。

April 20, 2023 NALC day ナルクが設立された1994年4月20日を記念し、理念である「奉仕活動」を地域社会に貢献しようと、一昨年から全国統一で「ナルクデー」を設定し展開した。各拠点で「のぼり旗」を掲げ、河川、公園、道路、駅前広場等の公共施設での清掃活動を実施。昨年は全国の拠点から49件の実施報告があり会報にも掲載した。本年はコロナ禍ではあるが「ウィズコロナ」「コロナを打ち負かそう」との気概で、地域の環境美化をメインに拠点単位、エリア単位、または地域の方々も巻き込んで、全拠点で実践し、ナルクの存在意義を地域の皆様に訴えようではありませんか。

With Base Leader Training Course



配布部数：20,000部
配布地域：全国88拠点
問い合わせ：本部 TEL.06-6941-5448
月～金(祝日を除く)10:00～17:00
kato@nalc.jp

老若男女問わず
一緒にボランティアする方大募集!

ナルク会員募集中

ナルク会報誌
バックナンバーは
Webで



読者の随想

79歳の礎

【大阪府・堺泉北
神田 和代】

私は和歌山県海草郡
という山奥で生まれ育ちました。家は山のてっぺん
にあり、学校まで1時間以上坂道で石や木の実を
転がしたりしながら駆け降りていました。

お弁当はいつも2つ持って行き、1つは学校の昼
食用、1つは帰り道の途中の木の枝につるしておき
ます。それは、学校の帰り道で道端に座って食べて
いました。小・中学校の9年間ずっと続きました。

中学校を卒業して学校の先生の紹介で大阪府
立病院に就職しました。その時の持ち物に「上履
き」と書いてあったので両親が作った「藁草履」を
持って行きました。クラスメートが大笑いして部屋

の前にはぶら下げ
ていました。田舎
では「上履き」と
言えば「藁草履」
だったが、大阪ではスリッパでした。

看護師の見習いをしながら定時制の高校に行き、
看護師の資格を取り65年間働いてきました。看護
師以外の仕事に就いたことがありません。

私が79歳の今日まで元気に暮らしているのは、
何ととっても山で鍛えた15年間の「礎」になってい
ると思います。

子ども達が戦禍に
巻き込まれないように

【大阪府・寝屋川 嘉手川 宮子】

孫の入学を機に子ども見守り隊に参加して早や
1年半となる。雨の日も寒暖の日も黄色い旗と帽子、
ベスト着用の出で立ちで、
1年生から6年生の元気
な子ども達と目を合わせ
笑顔で「おはようござい
ます」「いってらっしゃい」
と声掛けしている。



中央、後ろ姿が筆者

ある子は大きな声で、またある子は照れながら小
さな声で「おはようございます」と答えてくれる。沢
山の子どものパワーが心の深層にまでも届き、
毎朝の見守り隊への参加が、77歳の元気の源であ
り糧となっている。

戦禍に怯えるウクライナの子どもの達を思うとき、
目の前の子ども達が、決して決して戦争に巻き込ま
れることのない自国でありますようにと、祈りなが
ら今朝もひとりひとりと挨拶を交わしている。

拠点だより

栃木県・栃木

清原地区小学校育苗活動 & どんぐり畑の作業

11月18日、清原東小・清原中央小学校でどんぐり
育苗出前授業
を実施。



清原東小は
4年生60名、
清原中央小は
5年生68名の
参加。黒川副代表、校長先生のお話しに続いて福井会
員の紙芝居(小西会員製作)を交えた足尾の山の荒廃
から植樹による再生運動と育苗活動で育てた苗木の
活用をユーモアに分かりやすく説明。ナルク会員補助
の下、どんぐりを1ポットに3個、約700ポット植付けま
した。来年の発芽が楽しみです。

12月3日は11月に移植した苗木の手入れ、備品類の
整理等を実施。今年は3月4日から始めます。「気楽に
楽しく」参加をお待ちしています。

千葉県・かずさ

浜子里山竹林整備作業を花壇菜園同好会が支援

ナルクかずさ花壇菜園同好会は、この度3日間(11月
20日、12月10日、1月15日)の予定で「浜子の歴史と景
観を守る会」の活動に全員が参加し、孟宗竹の伐採と処

理の手伝いを行いました。

浜子建暦寺は、奈良時代の天平9年(737年)に行基
菩薩によって創建。仁
王門の奥の阿弥陀堂を
始め、阿弥陀菩薩座像、
菩薩面、千体仏、この地
に稲作を伝えたと言わ
れる貞元親王像など千



葉県や君津市指定の文化財を始め貴重な歴史的資産
が保存されています。

また、建暦寺にはご主
木として「カヤ」の巨木が
あり、地域のシンボルと
して景観を創り出してい
ます。これらの歴史的資
産や自然の景観を「地域の宝物」として後世に伝え、歴
史を繋いでいこうと地域の皆様はじめ多くの方々の賛
同を得て「守る会」が出来たとのことです。

「守る会」には花島正信会長はじめナルクかずさ会員
数名が参加し活動を行っています。

佐賀県・佐賀
設立総会開催される

2月24日、かねてから設立準備が進められていた
「ナルク佐賀」の設立総会が実施された。2021年北
海道の「手稲拠点」設立以降、令和になり2つ目の拠点
設立となった。



半径5メートルを歩幅10
センチで蛇行。以前、介
護施設でよく見た認知症
の方を思い出しました。
こちらにも1人さて、どう
したものか?としばらく
思索。そつと近寄りお顔

の前からゆつくりと「こ
んには。どちらまでで
すか」と尋ねると、顔を
上げて「何?」あかんか
らと思いつつ「田舎はど
ちらですか」そこから、
身の上話が1時間。少し
肌寒くなり、警察に電話
しようか?と思つた矢
先、男性のスマホに奥さ
らから着信、代わつても
らう状況説明。「夕方4
時から主人が行方不明な
んです。良かった、自宅
は伊丹です、すぐ車で向
かいます」少し涙ぐまれ、
30分後には到着、一安心。

私の父親も晩年は近所
で徘徊し、行方不明にな
り、多くの人々に助けて
もらいました。今度はそ
うかと言つたので、大方そ
の気になっていました。
「いや待てよ」ナルクの朗
読同好会を通じて親しく

なつた保健師・看護師で
市伊丹病院の婦長など
経験者の田川幸子さんを
思い出しました。電話で
どうしたものか聞いたと
ころ、「止まるまで小鼻を
つまんでおく。うろろう動
かない。ティッシュを鼻の
穴に詰めない。このような
事を守れば30分後くらい
には止まると指導頂いて
その通りにしていたら、2
時間余りの出血が嘘のよ
うに止まって事なきを得
ました(毛細血管が破れ
たのでしょ)。

急武庫之荘駅南のバス停
で体格の良い年配の男性
が、進む方向が定まらず

10月3日夕食後(18時
半頃)に鼻をかんだとこ
ろ出血。5分くらい鼻をつ
まんでいたら止まりました
その通りにしていたら、2
時間余りの出血が嘘のよ
うに止まって事なきを得
ました(毛細血管が破れ
たのでしょ)。

10月3日夕食後(18時
半頃)に鼻をかんだとこ
ろ出血。5分くらい鼻をつ
まんでいたら止まりました
その通りにしていたら、2
時間余りの出血が嘘のよ
うに止まって事なきを得
ました(毛細血管が破れ
たのでしょ)。

ナルクは仕事・家事援
助(介助・見守り)以外に
こんなことでも相談につ
てもらえる専門家が沢山
おられるのでありがたい
団体です。
(兵庫県宝塚川西平塚彦彦

武庫之荘で、
徘徊の男性へ
お声がけ
10月1日夕方5時、阪
急武庫之荘駅南のバス停
で体格の良い年配の男性
が、進む方向が定まらず

10月3日夕食後(18時
半頃)に鼻をかんだとこ
ろ出血。5分くらい鼻をつ
まんでいたら止まりました
その通りにしていたら、2
時間余りの出血が嘘のよ
うに止まって事なきを得
ました(毛細血管が破れ
たのでしょ)。

10月3日夕食後(18時
半頃)に鼻をかんだとこ
ろ出血。5分くらい鼻をつ
まんでいたら止まりました
その通りにしていたら、2
時間余りの出血が嘘のよ
うに止まって事なきを得
ました(毛細血管が破れ
たのでしょ)。

ナルクは仕事・家事援
助(介助・見守り)以外に
こんなことでも相談につ
てもらえる専門家が沢山
おられるのでありがたい
団体です。
(兵庫県宝塚川西平塚彦彦